

古田 亮

受賞教員インタビュー 第3回

展覧会ではなく本の形で世に問うた新しい宗達像。
刺激的な視点から書き下ろした『俵屋宗達』でサントリー学芸賞を受賞。

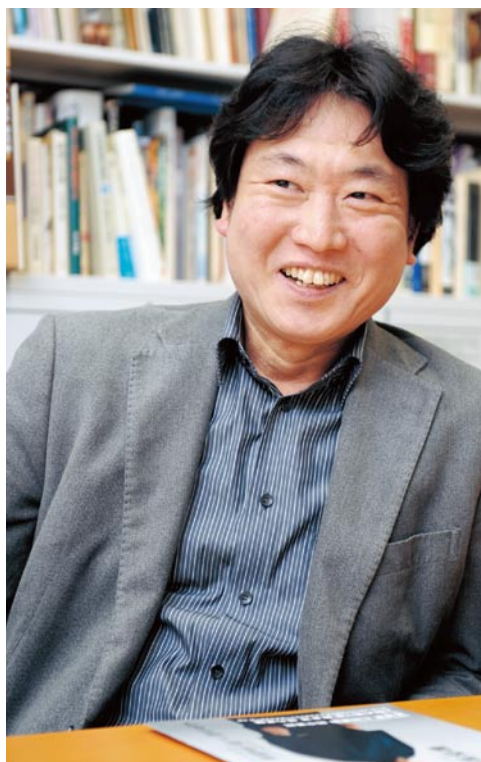


Photo by Tomoe Murakami

生きている宗達

私は研究者であるとともに、展覧会を通して自分が提起したいことを表現する学芸員でもあります。美術作品を展示してそこに「塩胡椒」を加えて、観る人に評価を委ねるのが展覧会です。二〇〇四（平成十六）年に「琳派 RIMPA 展」（東京国立近代美術館）を開催

したあと、次は日本の俵屋宗達とフランスのアンリ・マチスの作品を並べる展覧会ができたかと思っていました。宗達に対してこれまでとは異なる見方ができるのではないかと。宗達が本質的にもっている芸術性や、なぜ近代になってから認められるようになったのかということも追究したい。しかし諸条件から、展覧会ではなく本の形での方が表現でき

ると思って書いたのが『俵屋宗達 琳の祖の真実』なんです。

現代の作家と話をしていますが、宗達の話になると止まらなくなる。決して過去のものではなくて、「宗達は生きている」と実感しています。明治以降の近代の画家たちが、自分たちの日本画を新しく描こうというときも、宗達や光琳、抱一が近代の日本画家たちにとって重要なイメージソースになった。過去の遺産を探したとき、はじめに尾形光琳を発見したけれど、光琳よりもさらに前に俵屋宗達があった。近代画家のモチベーションとリンクする人間的な画家がいたのです。その感覚はいまも続いていて、一般の人が「風神雷神」を見たときに感じる「わくわく感」も画家の直観と同じなのではないでしょうか。

「気品が香る」日本美術を展示

サントリー学芸賞はあこがれの賞

第22号 目次

02 受賞教員インタビュー 第3回

古田 亮

04 geidai gallery 第2回

佐藤 一郎 黄山北海 石笋峰

06 教員は語る 第14回

八谷和彦×大塚直哉

09 受賞学生インタビュー 第5回

寺嶋孝佳 三宅悠太 平田竜馬

12 TOPICS

映旬 美旬 音旬

20 卒業生に聞く 新連載

石上純也

22 研究室探訪 新連載

音楽学部器楽科 ピアノレッスン室

24 上野の寄り道 散歩道 第3回

東京国立博物館庭園散策

26 上野の杜の波瀾万丈 第11回

東京音楽学校生の陸軍音楽隊入隊後篇

橋本久美子

28 展覧会&演奏会情報

香りがぐわしき名宝／和楽の美

30 NEWS2010.08 ～ 2011.01

編集後記



俵屋宗達《風神雷神図屏風》のうち「風神図」江戸時代・17世紀 二曲一双 京都・建仁寺(国宝)

ですから、受賞の知らせを受けてほんとに驚きました。研究領域の蓄積が評価されるアカデミズムにおいては、専門分野に入りすぎて見えなくなってしまう部分がある。過去の専門家の研究を十分踏まえたう

えで、近代の美術史を見てきた人間からなに見えたかを提起したつもりです。最後に、大学



『俵屋宗達 琳派の祖の真実』(平凡社)

美術館でこの春に開催する「香りがぐわしき名宝」は、ぜひ皆さんにご覧いただきたい展覧会です。近代日本画で優れた作品を、「香り高い」と表現することがあります。では「香り高い」とはなにか。戦後、特に日本画の世界は造形に偏っている、かすかな香りを表現しようという世界観が忘れ去られてきたように思えます。もとをたせば日本文化のなかでは、香りは重要なファクターなのです。そこで香りと関係のある品々を展示して、「香りを描く」という不可能なことを表現者たちはどのように工夫してきたかを歴史的に追えるようにしました。ずっと温めてきた企画です。目には見えない香りに想像力を働かせて、絵に向き合っていたきたいと思うのです。

藝大通信

No.22

TOKYO GEIDAI

東京藝術大学広報誌

藝大通信 第22号

■編集発行

東京藝術大学 藝大通信編集部

■編集委員

松下 計(美術学部デザイン科准教授・編集長)

斎藤典彦(美術学部絵画科日本画准教授)

小鍛冶邦隆(音楽学部作曲科教授)

毛利嘉孝(音楽学部音楽環境創造科准教授)

筒井武文(大学院映像研究科映画専攻教授)

大石 泰(演奏芸術センター准教授)

■アートディレクター

松下 計

■表紙デザイン

松下 計

■表紙撮影

村上友重(美術学部附属写真センター)

■撮影

堀口宏明・川島保彦

■制作

株式会社 平凡社

■発行日

平成23年3月10日

■お問い合わせ先

東京藝術大学総務課

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

電話 050-5525-12026

FAX 03-5685-7760

E-mail toiawase@ml.geidai.ac.jp

URL <http://www.geidai.ac.jp/>

古田 亮(ふるた・りょう) 准教授 大学美術館

一九六四年東京都生まれ。八九年東京藝術大学美術学部卒業、九三年同大学院美術研究科博士後期課程(日本東洋美術史)中退。東京国立博物館美術課絵画室研究員、同館主任研究官を経て二〇〇六年より東京藝術大学大学美術館助教授(〇七年より准教授)。おもな企画展に「琳派 RIMPA」(東京国立近代美術館・二〇〇四年)、「岡倉天心―芸術教育の歩み」(大学美術館・二〇〇七年)など。二〇一〇年に『俵屋宗達 琳派の祖の真実』でサントリー学芸賞を受賞。なお、「香り かぐわしき名宝」は四月七日(木)から五月二十九日(日)まで大学美術館で開催される。